

正 誤 表

頁 目 次	行	誤	正
3	8	下村湖人の「煙仲間」(2) 先生方	下村湖人研究——煙仲間について(2) 先生方
3	14	道徳教育の研究と	道徳教育の研究並びに
	15	並びに教育心理学あるいは青年心理学	教育心理学あるいは青年心理学と 削除
5	表(注)	(注)本学における教育実習は、4 単位…	(注)本学における教育実習は、3 単位
24	2	戦事体制	戦時体制
34	13	江口教頭	教頭江口彰次氏
36	28	学長	校長 (補註1)
40	16	先生であった。	先生であった。 (補註2)
52	1	思っている。	思っている。
59	9		(補註1)この他、顔は怖いが心は優しい猪俣 先生など何人かの先生がおいでであった。
	11		(補註2) 工場で一時的に内部対立を起した 生徒達もよく私に従ってくれたが、個人指導 が行届かず、先のことが心配なまま別れてしま った生徒が幾人かあった。その中で特に、 M, Y, F 2人のことが気がかりであった。 5年程を経て、Mが中学の教師として立派に その道を歩んでいることを知ってほっとした が、F 2人とYの行方は杳としてつかめず同 級生に会う毎に尋ねていた。その後、Fの一 人の亡くなったことを知ったが、もう5年ぐ らいになろうか、Yが堂々たる実業家になっ ていることがわかった時には本当に嬉しかっ た。最近、もう一人のFも元気でいることが わかり、遠からず会えることを楽しみにして いる。みんな50才の働き盛りである。
67	33	あります。 (13)	あります。 (13)
102	26	…彼はどう取りくみあって…	彼はどう取くみあって
102	30	，幸いにして次郎と相識る	幸にして次郎と相識る
104	13	，だとしたら、私はこの本が……	だとしたら、私は恐らくその一冊にこの「次 郎物語」を選んだであろう。私はこの本が…
104	17	，それ以上何か言えば，	それ以上に何か言えば
105	28	かはなかった。	かなかった。
105	29	考えさせむられた。	考えさせられた。
106	1	…あることは，	…あるとは，
106	4	，それとしても病的……	，それとても病的……
106	8	外はない。	外ない。

107	24	, すぐにけいべつしたり,	, すぐけいべつしたり,
107	25	, すぐに感心をしたり……	, すぐ感心をしたり……
108	27	, 五十近くになって東京に……	, 五十近くになってから東京に……
	29	…驚歎に値する……	…驚歎にも値する……
112	15～16	フイロソフエイン …知恵を愛求し〔哲学〕始……	フイロソフエイン …知恵と愛求し〔哲学し〕始……
	16	ただし, その初めには,	ただしその初めには,
	16	, ごく身近の……	, ごく身近の……
	23	…これを求め始めた……	…これを求め始めた……
	27	, 物事に現に……	, 物事の現に……
	28	…いだくにある。—	いだくにある, —
	32	…思えようから) —	…思えようから), —
	33	…逆の状態に, 置き……	…逆の状態に, しかも俚諺の言うように『よりよい』状態に, 置き……
113	1	…学び知った者にとっては,	…学び知った者において見られる通りである, すなわち幾何学的認識を獲得し所有している者にとっては,
	1	…測りうると……	…測りうる……
	2	…ということにでもしたら,	…ということになりでもしたら,
117	13	…教材……	…材料……
117	16	, 主観的な……	…主我的な……
118	9～10	…こぼれ落ちた。『母さん, どうしたの?』	…こぼれ落ちた。それは不思議なかがやきをもって彼の心にせまった。『母さん, どうしたの?』
122	12	…ことなのではないか……	…ことなのではないか……
123	2	…その顔からお浜にも,	…その顔から, お浜にも,
124	4	…東京の様子をきき……	…東京の様子もきき……
124	5	, それを知りたかった。	, それも知りたかった。
124	8	…手を握って貰った……	…手を握っていて貰った……
124	12	, 彼がかつて……	, 彼がかつて……
124	12～13	, 少なくとも……	, 少なくとも……
126	註(1)	上岡安彦「斎藤喜博『授業』研究——前文分析——」 (駒沢大学……)	上岡安彦「斎藤喜博『授業』研究——前文分析——」 (駒澤大學……)
	註(8)	(註2, 以上略) ……	(註2, 以下略) ……
	註(11)	1964	1964年
	註(13)	アリストテス	アリストテレス
	註(17)	565頁～570頁	565頁～576頁
	註(23)	上藤喜博…1970	斎藤喜博…1970年
130	16	「斎藤喜博全集」第五巻の月報に,	「斎藤喜博全集」第六巻の月報に,
136	21	(御茶大講師)	(お茶の水女子大講師)